

建築心理学演習課題

地域にかかわるデザイン

信州大学大学院 理工学系研究科 建築学専攻

これまでの成果



これまでの成果



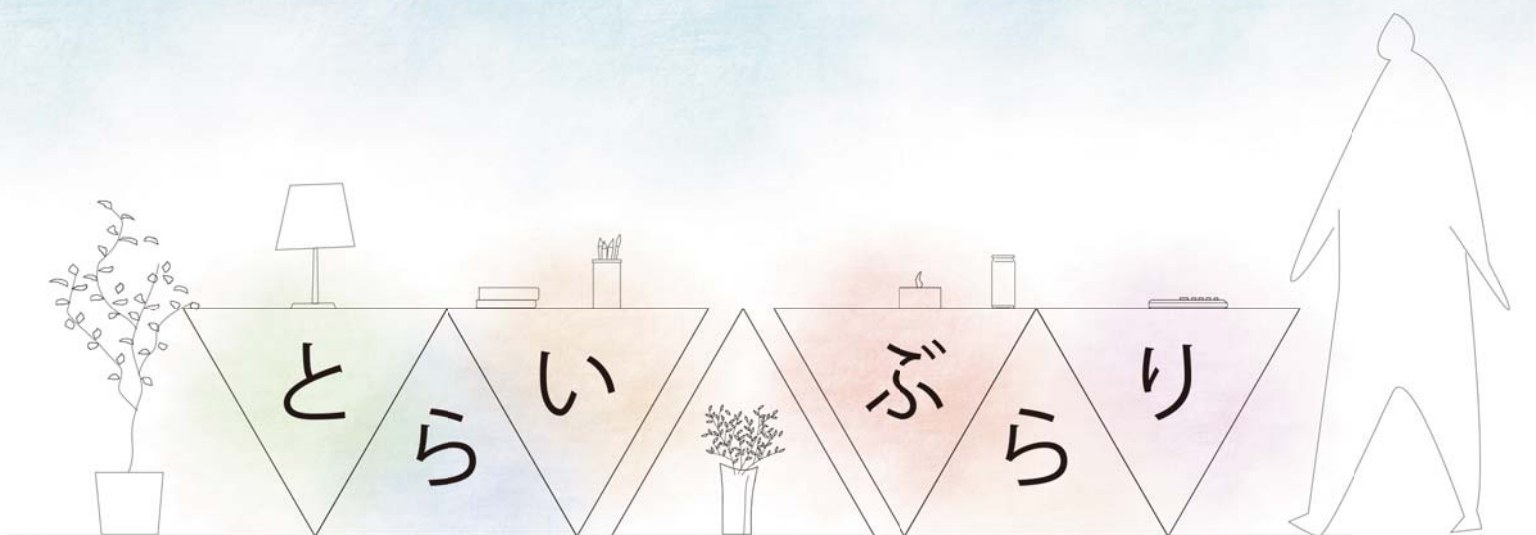
課題内容

- 須坂市立図書館の休憩室で利用される机と椅子について考える。
 - 用途をふまえ、適切と思われるデザインを模索する。
 - 用いる材料は基本的に木材とする。
 - 設置期間は10年を基本とする。
- 少なくとも1人1案を提案し、2回のプレゼンを通じて1案を選出する。
- 選出された案は、実際に製作され、須坂市立図書館に納品される。

課題スケジュール

時期	内容
7月下旬	現地見学および調査@須坂市
10月	エスキス@信州大学
11月	中間審査@須坂市立図書館
12月	最終審査@須坂市立図書館
1月	図面を完成させて発注
2月	実物の確認
3月	完成品の納品





信州大学大学院総合理工研究科
建築心理学演習

酒井禄也、千田卓弥、堀江真太郎、安田哲朗、柳瀬亮太

市立須坂図書館

- ・たくさんの資料やおはなしの会、講座やランチタイムで「知りたいこと」「がんばりたいこと」ふるさとを応援する図書館
- ・ひととほん、ひとと情報、ひととふるさと、ひととひと、ひととゆめ、をつなげる図書館
- ・学習室で学習している学生、地域の人など多くの人が集まり利用する場所

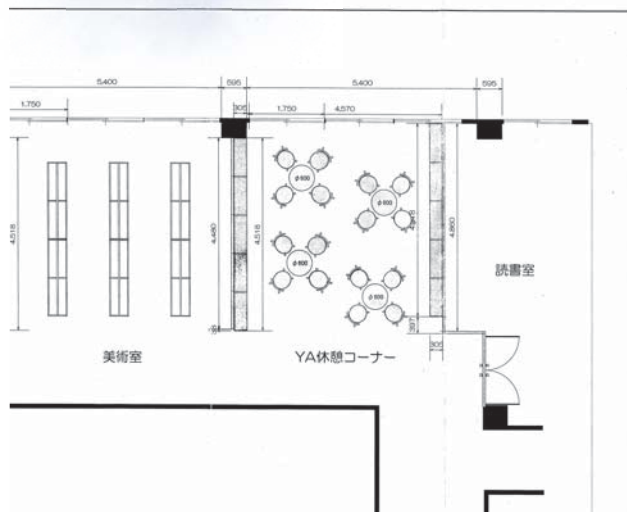


<https://biz.its-mo.com/biz/map?lat=131942966&lon=497953167&lvl=17>



<https://www.city.suzaka.nagano.jp/otakara/search/item.php?id=181>

現状



デザインの素

組子は、古くから親しまれている日本の伝統、また、木材だけでつなぎ合わせる技術。これらを素に伝統を大切に、歴史と人、人同士をつなぎ合わせる。図書館に新たな風を吹き込みつつ、実用的な休憩室を創造する。



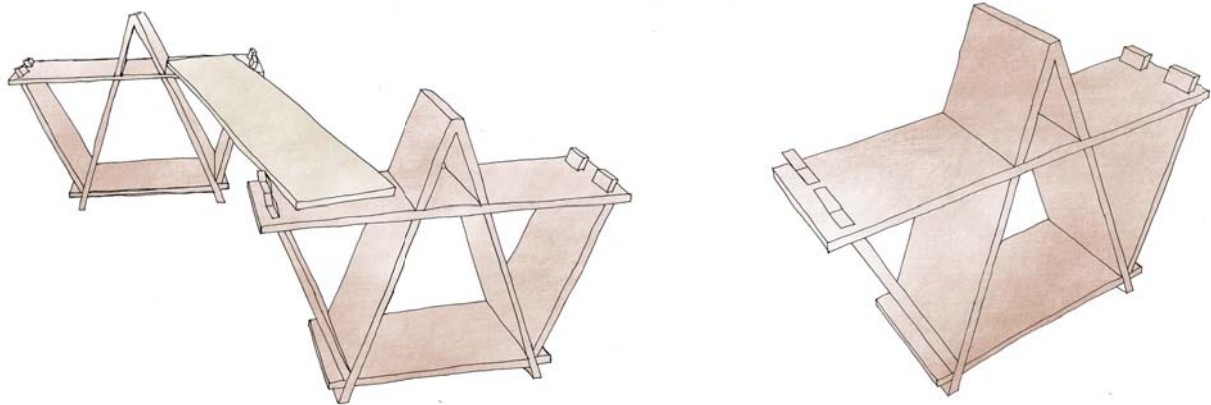
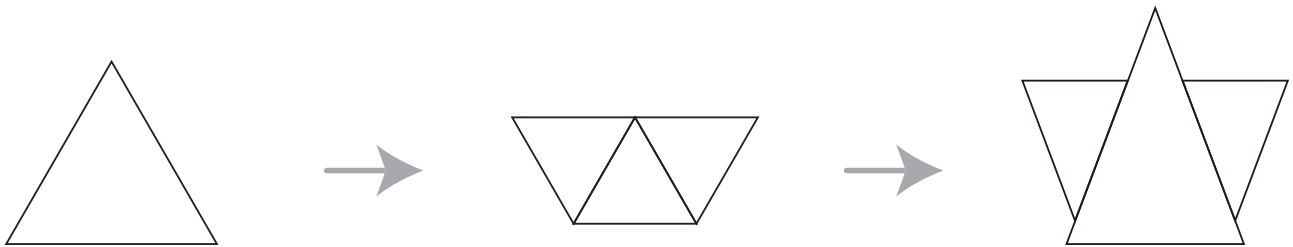
<https://www.tanihata.co.jp/sp/kumiko.html>

歴史を伝えるデザインとして、組子のデザインに着目する。

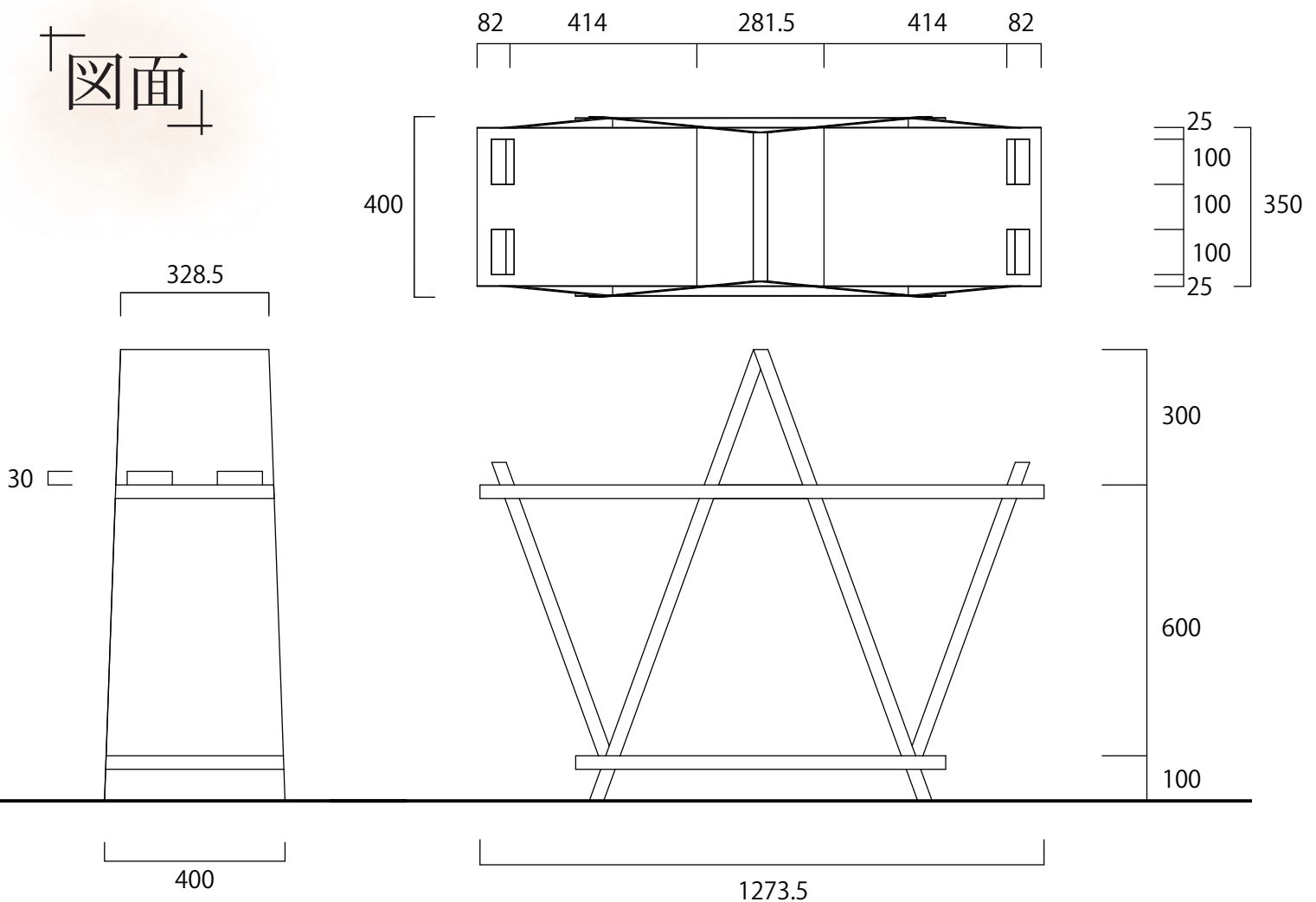
→組子のデザインを細分化していくことで、組子には三角形が多く見られることがわかる。

↑デザインの流れ↓

組子の基本である三角形には、ギリシャの数学、ピタゴラスの定義、そして、エジプトのピラミッドなどの建造物などとも繋がる普遍的な概念と形、美しさ、強さがあります。
また、数字の3は日本をはじめ、多くの国で、幸福を呼ぶ数字とされています。



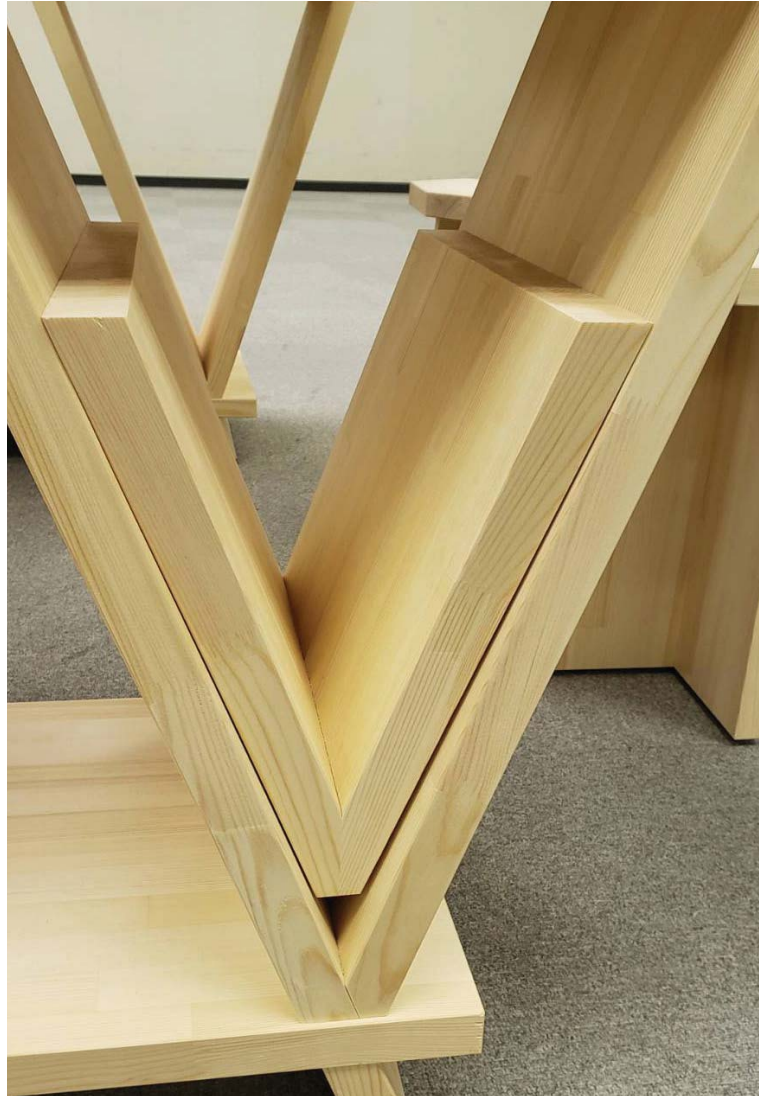
↑図面↓

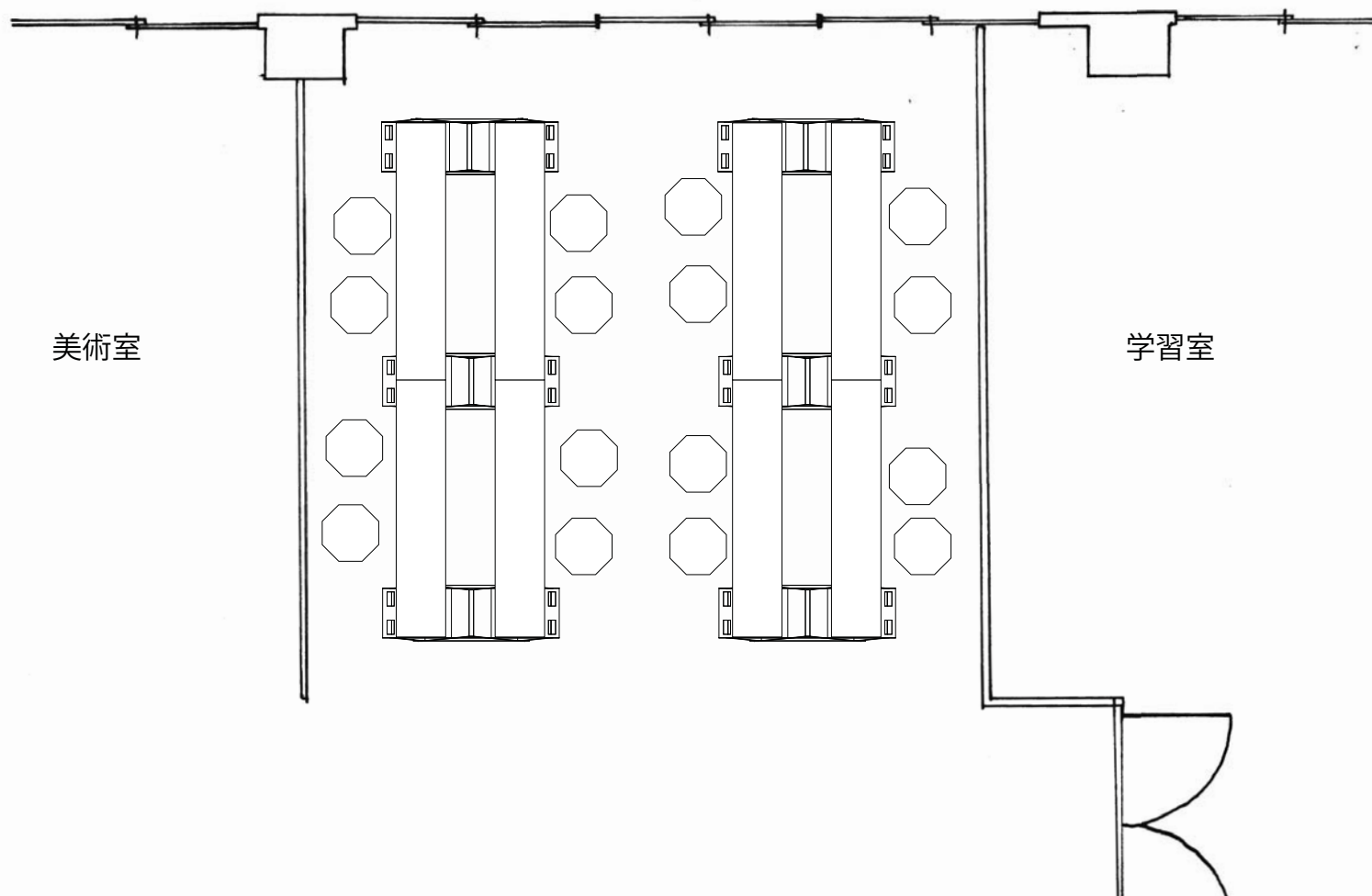
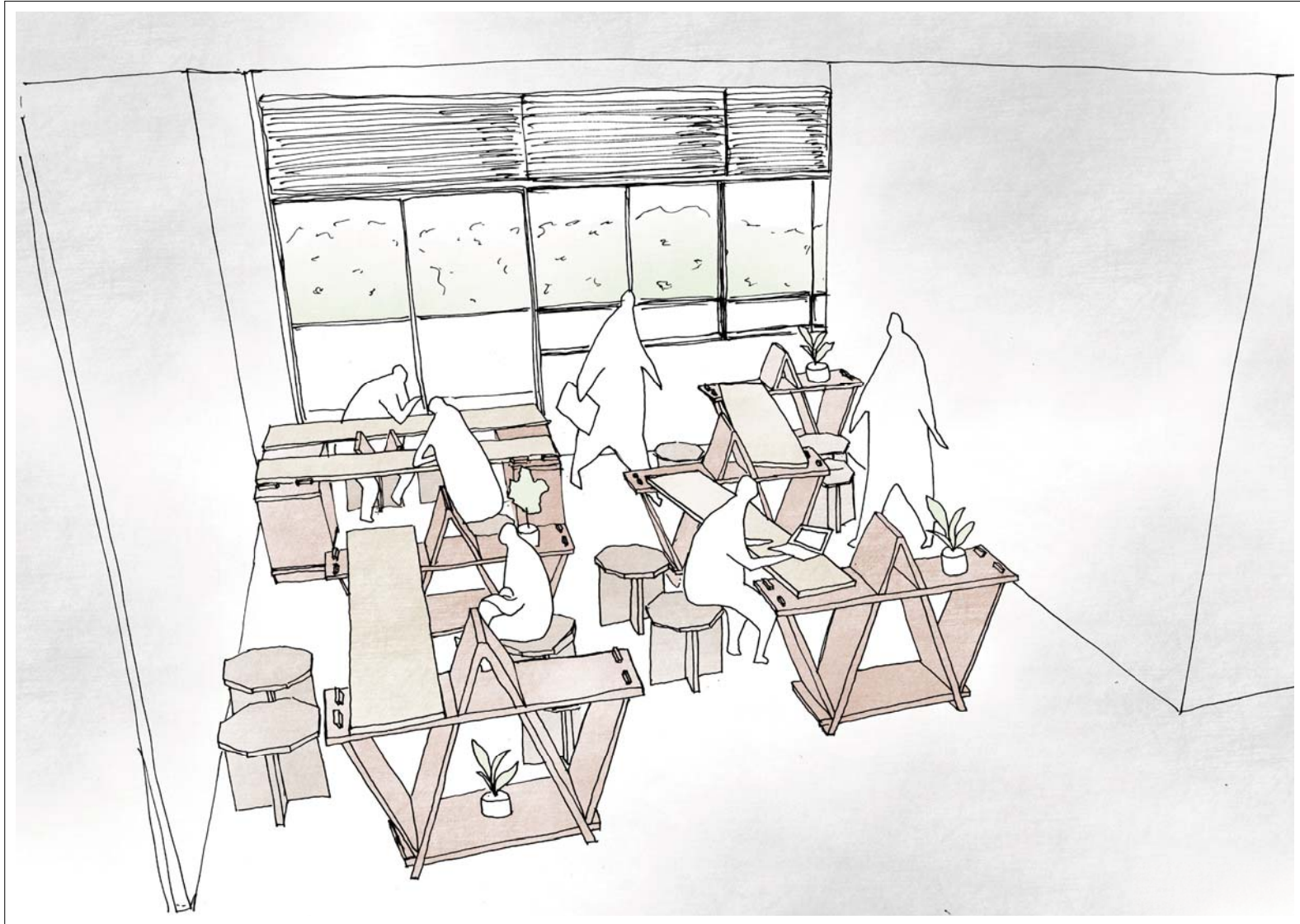


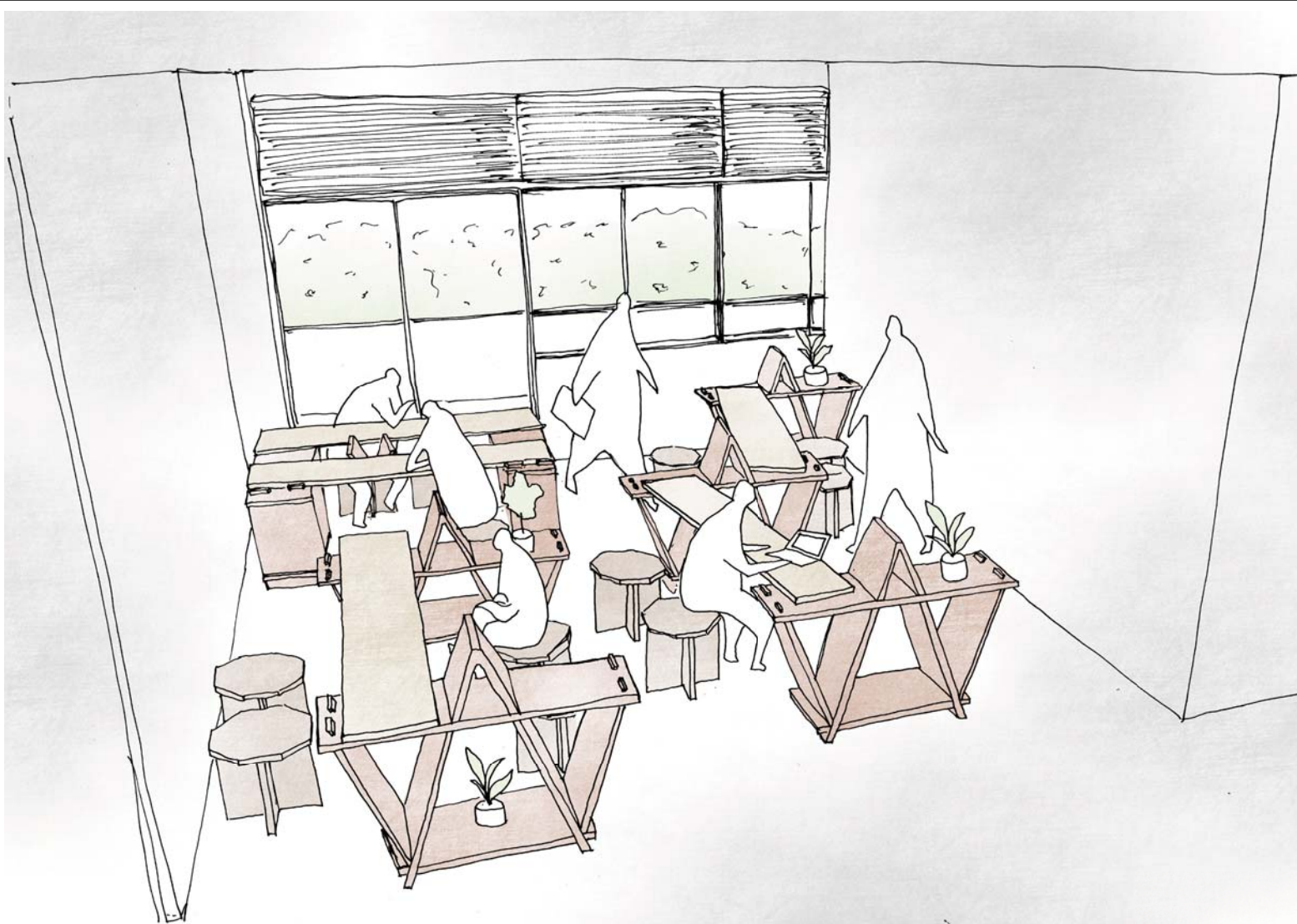
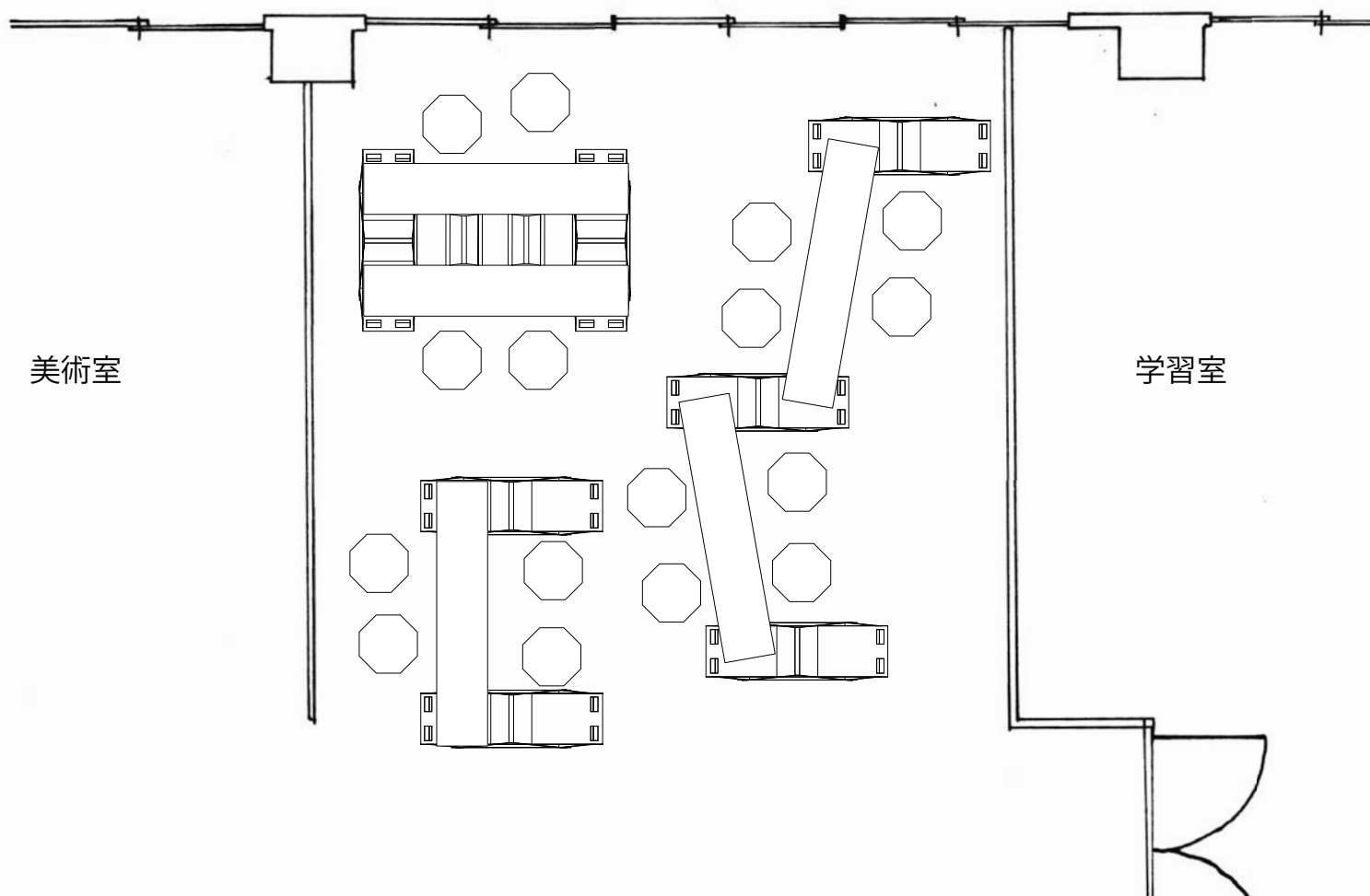
設置例













今回制作に関わっていただいた
クラシマ建設の川瀬様に
御礼申し上げます。